



Show Rotary Cares ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区
ガバナー——久保田 昭 治
会 長——五十嵐 総 一
会長エレクト——細 井 増 雄
副 会 長——長谷川 有 美
幹 事——佐 野 勝 栄
副 幹 事——西 山 徳 厚
S A A——山 浦 日出夫
副 S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	79名中 44名
先々週出席率	82.43%

ヴィジター

三条南より 永桶栄資さん

三条北より

梨木建夫さん、大野新吉さん

ゲ ス ト

大島精次パストガバナー殿

先週のメイクアップ

10/30 燕へ

細井増雄さん

10/31 吉田へ

渡辺勝利さん

11/4 三条北へ

吉井俊介さん、渡辺喜彦さん、

五十嵐昭一さん、古沢富雄さん、

渡辺勝利さん

会長挨拶

五十嵐総一会長



皆さん今日はお食事中の方沢山いらっしゃいますけれど、第一例会と言うことでいろいろ催し物がありますので、お許しを願います。今日は大島パストガバナーをお迎えしての例会をさせて頂く事を本当に心より歓迎を申し上げます。メーカーの方々をご紹介させて頂きます。三条南から永桶さん、そして北クラブから梨木さん、大野さんようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし頂きたいと思ひます。

先日11月3日ですか、当クラブの40周年記念事業として運動公園に植樹をしたことで、三条市から表彰をされました。その表彰状が参っておりますので、皆さんにご報告させて頂きます。本当に有難うございました。又後でお返しさせて頂きます。

11月はロータリー月間でもあります。上期の正念場に來たんだなあという実感に思ひます。

今日は先般の吉田パストガバナーに続いて、大島パストガバナーの卓話を頂く訳でございます。十分に時間をとりたいと思ひますので、挨拶は終わらせて頂きます。

幹事報告

佐野勝栄幹事

◎地区大会事務局より

地区大会ご出席お礼状がとどいております。

ニコニコBOX



五十嵐総一さん

11/3 細井エレクトさんに変更頂きありがとうございました。

大島パストガバナーを歓迎して。

佐野勝栄さん

大島パストガバナーをお迎えして。

高畑 昭さん

おかげさまでISO9002を認証取得する事が出来ました。

又日本旅行さんの企画で従業員一同でカナダへ旅行してまいりました。大変良い旅行でありがとう御座居ました。

榎本 勝さん

10月25日、防衛庁へ呼ばれて、防衛庁長官より感謝状を頂いて感激して帰りました。

斎藤弘文さん

大島パストガバナーを心より歓迎致します。

連休を利用して出雲地方に旅行致しました。足立美術館にかんめい致しました。

熊倉昌平さん

佐野幹事さんの会社のゴルフコンペに楽しく参加させて頂きました。

高森章仁さん

大島パストガバナーを歓迎致します。

松谷昊吉さん

9日の日曜日、下田の光明山に登ります。ご希望の方は松谷までどうぞ。

長谷川有美さん

二週欠席し、すみません。

大島パストガバナーを歓迎して。

佐藤 武さん

大島パストガバナーの卓話を楽しみにしておりました。

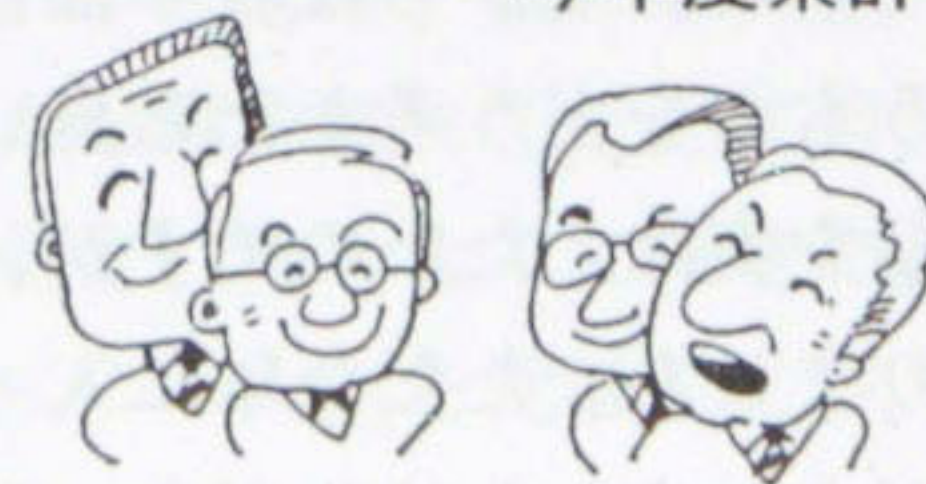
小林敬典さん

大島さんを歓迎申し上げます。

所用のため早退させていただきます。

11月5日分 ￥18,000

今年度累計 ￥421,000



卓話

大島精次パストガバナー殿



丁度3年前7月20日だと思ひましたけれど、高橋会長さんのもとで公式訪問させて頂きました。大変有難うございました。しかも今回は当クラブの藤田説量先生がお出でになるかと内心ひやひやして参りましたが、お顔が見えないので実は内心ほっとしております。大先輩でありますし、素晴らしい卓話をされる先生であります。しかも、私の前に吉田正平さんがおやりになったという事で、ガバナーが終わった直後というのは一番油がのってるんですね。ロータリーの事も判るし、仕事の方も一步下がって仕事を見るということが大変なのですね。自分が日常この仕事に没頭しているときは、案外見えないです。そういう事から、ロータリーに邁進している。一步下がってお前に委したよと自分の職業を、一步下からあるいは上から横から見てるときというのは、意外に分かるんですね。そういう意味において、吉田正平さんの後で皆さんのご期待に添える話しが出来るかどうか分かりませんが、一生懸命時間内努

めさせていただきます。

実は職業の大本営といいますか、メッカであります商工会議所、今上越の商工会議所がおおもめにもめております。皆さん新聞でご存じのとおり、荻野会頭が直江津商工会議所から数えて47年会頭なんです。立派な会頭としてやって参りましたが、その発端となりましたのが、商工会議所の職員が約3万回、商工会議所を舞台にして無言電話を掛けた。6人の私服刑事が商工会議所に踏み込んでその場で現行犯逮捕、この事態を重く見て、若い者からもうそろそろ交代しなさいよという声が出まして、ようやくこの13日に新しい会頭が選ばれるという事になりました。それにつけても、4月29日に当クラブ40周年にお邪魔させて頂いて、鈴木宗資さんの台頭時代といえますか、素晴らしいユニークな話を聞かせて頂いてまだ心に残っております。しかも先程一寸聞いたら、ご退任されたという事で本当に永い間ご苦労様でございました。心からお礼申し上げたいと思います。これからは是非頑張ってお進みいただければと思います。実はアメリカの実業界の中でこういう話があります。職業の第一線を退いた人の余命は、別に皆さんに当てはめる訳ではありませんけれど平均3年だそうで、自分の職業とあるいは自分の一生、人生と言うものをタイアップさせてお互いに両立できて、職業生活を楽しみながら自分の一生を終わるという事は大切な事だと思うのです。そういう話を聞きまして、是非くれぐれもロータリーをエンジョイしながら、自分の人生をエンジョイしながら、その中に職業の喜びを見い

出すところという具合にありたいなあと思っております。それにつけても、政・官・財、この三つのトライアングルがお互いに機能しあって、大変な問題が今起きております。むろん黒い霧から始まった一連の、続いてバブルがはじけてその責任は一体何処にある。もう無茶苦茶な状態です。三洋証券も倒産致しました。普通だったら、倒産するとそこに投資した金は我々のところに戻らないですね。例えば小さな株式会社が倒産する。そこに投資した人が有限責任で出資した金額全部無くなってしまいます。ところが消費者法という名前のもとに、一般国民から集めた税金が流れて補填する。従って一般消費者には100パーセント戻る。これもおかしなもの。どうしても納得いかない、そういう事故があまりにも多過ぎると私はそう思います。ある新聞のコラム欄に、小人閑居して不善をなす。閑は暇じゃないですね。官僚の官と置き換えた。小人官居して不善をなす。官僚になって不善をなす。正に今の時代にふさわしい語呂合わせだろうと思っています。これほど信頼のおけない官僚もありません。しかも、政治家は勿論、残念な事に我々の職業人の中にも沢山の信頼のおけない方がお出でになります。今回証券会社を初めとする総会屋への利益供与に携わってる人達、よく見てご覧なさい。ロータリーバッチをつけていますよ。それが現実だという事なんですね。しからば我々は自分の職業というものをどう考えたら良いのか。こんな話を実はしたいのですが、私もよくわかりません。ただ今年に入っているいろいろな事がありましたけれども、私

は二つの大きな事を申し上げますと、一つはダイアナ妃が亡くなりました。それからこれとあい前後してマザーテレサが亡くなりました。二人とも惜しむべき死だと思います。又世界の財産を失ったという意味で大変な出来事だったのではないかと思います。

ただし、この二つをよく考えて見ると、かなり違うと思う。ダイアナ妃は恵まれた家庭でずーと恵まれて、そして英国の王室に入って自分の生活をエンジョイして亡くなられた。何時もダイアナさんのお出でくる写真は笑顔で非常に綺麗な顔。マザーテレサは人生を充分生きられたと思いますけれどもインドのカルカッタに自ら投じて、そしてハンセン病を初めとするあらゆる飢餓に自分の人生を捧げた。みごとな散り花だったと思います。その顔がまた本当に素晴らしい。マザーテレサの新聞の切り抜きを持っていますが、本当に素晴らしい顔をしています。両方とも素晴らしい。だけど、私は幸せだったなあと言って死んでいったのは、ダイアナ妃かな。これは自分の幸せ、幸せを一体なんだか知らないうちに幸せだなあーといういい顔して死んでいった。マザーテレサは人間の不幸も悲しみも充分知り尽くした上で、俺の人生は幸せだった。俺の人生は何にも変えがたい本当に満足して死んだ。

私は、この二つはおおいに違うのではないかと思います。我々の人生の中でも、いろいろな事を知ってそして自分の人生を送るのと、知らなくて幸せで送るのと、この二つの人生を比較して見ると、やっぱりいろいろな事を知らなければいけない。今

寺小屋の話がありましたけれども、今マスコミが進んでおりますので、我々が新聞とかでいろんな面で不幸な事を見たり聞いたりしますけれども、この眼で見ないですね。この前、ガバナーノミニーになった時に、お話したのですけれど、一枚の絵を見て下さい。こっちに禿げ鷹がいるんです、餓死しようとする、しかも倒れそうな、倒れたら食べようというのがこっちにいる訳ですね。そういう現実を写真で見る事はできるけれども、現実の問題として自分は見てない。倒れそうな死にそうな人がいるのに、なんで助けられないんだ、この写真はけしからん。物凄い非難のもとに、彼は首を吊って死にました。二、三日後に子供の手紙が沢山来た。その手紙の中は、私は日本の幸せな家庭に生まれて今まで何にも知らなかった、けど世の中にこんな事があるとは知らなかった。それを知らせてくれた写真家の先生、有難うございます。私はそれをこれから眺めながら世の中にいろいろな事があるんだ。その人生を知りながら自分の人生をこれからしっかりと見つめていきます。有難うございました、と手紙が幾つも来た。たぶんそれを見たらその写真家は勇気を取り戻して死ななかったかもしれない。

こういう人生の在り方はあると思う。むろん、職業においても同じだと私は思っています。マザーテレサの言葉の中に素晴らしいのがあるんです。貧困との闘いに生涯を捧げ貧しい人々の支えとなり続けたマザーテレサの生前の言葉を二、三読んで見たいと思います。貧困……『この世の最大の不幸は、貧しさや病ではありま

せん。むしろ誰からも自分が必要とされてないと感じる事です。』よくありますねえ、新しい家を建てました。伴が建ててくれた。そしてこれが父さんの部屋ですよ、とって離れの素晴らしい環境のところにお父さん、お母さんの部屋を造ってくれた。さあこれは素晴らしいなあと思っていたら、夕食の時にになったら、お父さんとお母さんはそっちで食べてくれ、私たちはこっちで食べます。よくある事ですね。同じようなことです。自分の存在感がなくなった時に人間の悲しみというのは極限に達する。それよりも家なんか建て増ししなくてよかった、一家団欒でみんなで食事をしたかった、これは本音だと思います。そういう意味においても、この言葉は身につまされるように感じる訳です。『貧しい事は美しい事である。』といいました。マザーテレサは本当に貧しい中で素晴らしい人生を送った。これを美しくないという人がいるのでしょうか？

もう一つ、ついでに逸話をさせていただきます。私の大好きな人にエリノア・ルーズベルト、ルーズベルト夫人ですが、ルーズベルトさんはアメリカで唯一2期以上勤めた大統領、しかも我々が東亜戦争の時の大統領、そのルーズベルト大統領は実は身体障害者であります。車椅子で日常の業務をやっておられる。だれもが当選する訳がないというアメリカ大統領に立候補された。エリノア夫人はファストレディで最高のファストレディだと言われていますけれども、また反面、最も醜い夫人なのですね。だから選挙に当選するまでのエリノアさんのあだ名は、醜い家鴨の子というあだ名なんですね。

ここで自分の演説の順番を待っている。車椅子からやおら立って、杖をつきながら演壇に上がろうとしてパタと倒れた。それを抱き起こそうと側近がよった時にエリノアさんが、『やめて下さい、大統領になろうとする人はたとえ杖にすがっても演壇に歩いていきなさい』何回も倒れていくのを叱咤激励して、手を貸さないうで彼がそこで話をした。その時の顔が最も美しかった。涙一杯。そして本当の愛情を示した。それで一辺にルーズベルトが当選したんです。どの報告でもルーズベルトは当選する訳が無い、それがみごと当選した。エリノア夫人の功績だと思います。本当の愛情というのは、そういう事である。厳しい表情の中に物凄い綺麗なものがあつたのだと思います。その後の後日談ですが、ヒラリー・クリントン夫人が今年の正月に、お正月に夢を見た。どういう夢かという、エリノア夫人にあなたは素晴らしいと褒められた。こんな嬉しい夢はない。それ程あの美貌と才知を持ち合わせているクリントン夫人が本当に尊敬しているファストレディは、エリノアさんだとかこういう逸話が今年の正月ブラウン管をとおして話がありました。それほどエリノア・ルーズベルトは素晴らしい。民主主義についてこう言っているんですね。民主主義は一辺になったものではない。小さな小さな或るアメリカの町で一人二人三人増えて民主主義が定着している。だから我々どんな狭いところにいろんな活動があつても、馬鹿にしてはいけない。それが起爆剤になって世界にいろいろなものが伝わっていくんだ。ロータリー活動もそう思うのです。

20人、25人というロータリークラブは日本には少ないですけれども、全世界には沢山あるんです。イギリスの1クラブの平均は25.6人です。そういう中で地道な増大活動の中で着実に民主主義とか或いは平和運動とかいろんなものが定着している事実を知るべきだと思います。

人間にとって最も大切なものは、人間としての尊厳を持つ事です。負担がなく、飢えより、心や愛の飢えの方が最も重要です。豊かな日本にも貧しい人はいると思うが、それに気づいていない人が多い。確かにそうですね。日本人に食えない人はいない。けどもこころない、いろんな悩みを持っている、こういう病を持っているのを本当に分かっているのでしょうか？日本人は富んで貧しくなったといわれています。そういう事を分かっている事を指摘しているのです。日本人はインドのことよりも、日本の内なる貧しい人々に配慮を優先してもらいたい。まず、てじかのところに愛の手を差し伸べなさい。確かにロータリー運動はインターナショナルです。我々の拠出する金は全世界にいきます。しかし、我々はもう一度この地域社会にしっかりと眼を向けて見る必要があるのじゃないかなあ。案外自分の身近にいろいろ手を差し伸べなければならない人もいるんじゃないかなあと思います。私はロータリー運動の地域における原点はそこに眼を向ける事だと思います。是非そんな運動が、ロータリーができればすごく幸せだとこんな風に思っています。ロータリーの原点ですけれども、職業奉仕というのは、ロータリーにとっては当たり前で、もと

もとはお互いの職業の相互援助から生まれました。ロータリーという言葉は初めはないので、ロータリークラブというのはなぜつけられた。初めはブースタークラブなのです。ブースターというのは、支える、押し上げるという意味です。電気をやっている方はご存じですが、ブースター電力を弱ったものをもう一度持ち上げてやる。お互いの職業を支えながら、やっていこうというのがロータリーの原点です。従いまして一業種一人、二人ですと喧嘩になります、和を保てない。だから一業種一人にしたんです。そしてこれをもう少し幅広くやるには、もう一つクラブをつくらうじゃないか。同じようなクラブを造りながら広げていこう。これがもともとロータリーの考えです。そこには社会奉仕の理念はありませんでした。ハリラッグスという第5の男という5番目にシカゴのロータリーに入った人、そして、いま例会に歌を唱っていますが、歌を唱う習慣を造った人、ハリラッグスですが、この人はポールハリスが社会奉仕運動を唱えた時に真っ向から反対して、そして辞めなくてずっと反対しようとした人なんです。50年後に1955年に或る大会があつた時に、隅の方で社会奉仕に反対だと言って手を上げた人がいた。それがハリラッグスだった。それほど彼はロータリーは職業奉仕に徹すべきだという考え、ただし、ポールハリスはそうじゃない、社会奉仕も地域のためにやっていこうという事で生まれました。23の34という社会奉仕のバイブルみたいな規定がありますが、23年の34番目の決議事項ですが、これはもともとは職業奉

編集後記

仕、社会奉仕といろんな事に対立したんです。対立したままではいけない。この規定が上程されたのです。お互いのロータリー活動を干渉しないで、自治権を認めましょう。基本はロータリーの友愛であるが、社会奉仕にするか、職業奉仕にするか、いろいろあるが、そのクラブの自主性にまかせる。それに社会奉仕の理念を少しずつ加えてきたのが今の規定なのです。職業奉仕はロータリークラブの原点でありますので、どうか自分の職業を通してその職業が今いった小人閑居して不善をなすというようなことにならないように自ら戒めながら、そして自分の職業をとおして社会奉仕できればこんな幸せな事はないと思います。

晩秋の道を夫婦二人が寄り添うようにして歩いているのを、見かけることがある。永い人生お互いに助けあって生きてきた二人。オンドリ夫婦という言葉がある。仲の良い夫婦のことを言う。エリノア夫人のような夫婦愛もある。傍目で見えていても心温まる思いがする。しかし、最近は熟年者の離婚が多いという。なげかわしいような、なんともやるせないことである。

S

例会案内

三条RC	11月19日例会	卓話 「建設工事と環境問題」	和田日朗殿
	11月26日例会	卓話	

メイクアップをどうぞ

三条南RC	11月17日例会	ロータリー財団月間	
	11月24日例会	(祝)休会	

三条北RC	11月18日例会	卓話	大島パストガバナー殿
	11月25日例会	会員卓話	

加茂RC	11月20日例会	会員卓話	
	11月27日例会	会員卓話	

燕RC	11月20日例会	クラブフォーラム	
	11月27日例会	クラブフォーラム	

見附RC	11月20日例会	会員卓話	
	11月27日例会	会員卓話	
